

2025 年度 進路先企業対象アンケート結果及び課題について

本学卒業生が在籍している企業・団体等を対象に、本学卒業生の印象、本学に求めるものなどについて本学を客観的に評価いただき、教育に関するさらなる改善及び教育の質保証の推進に役立てることを目的として、教育や研究、学生生活及びキャリア（就職・進学）に関するアンケートを実施した。

今般、アンケート結果を基に分析を行ったこと、及び本学において考えられる課題について報告する。

1. アンケート実施概要

対 象：就職支援システム（キャリアタス UC）に登録している約 4,000 社

実施方法：オンライン（Qualtrics）による実施

設問内容：別紙 1 のとおり

回答期間：2025 年 7 月 16 日～8 月 6 日

回答者数：133 社（134 名） ※昨年度 231 社（232 名）

回答企業規模 ※規模は従業員数で確認

大企業（500 名以上）：75 社、中小企業（50 名～500 名未満）：54 社、

小規模企業（50 名未満）：4 社

2. アンケート結果

別紙 1 のとおり

3. Qualtrics ダッシュボード（集計結果データ）の共有

集計結果データを Qualtrics ダッシュボードにて共有し全教職員が閲覧可能（別紙 2 参照）

4. アンケート結果分析

（1）大卒新卒者・本学新卒者採用時に重視する項目、本学卒業生に備わっている項目・足りないと感じる項目について【Q1～Q4】

- ・「コミュニケーション能力」、「自ら課題を発見し、解決する能力」、「意欲・積極性」は、企業が大卒新卒者・本学新卒者ともに重視する能力であることが見て取れる。その中でも大卒新卒者・本学新卒者ともに「コミュニケーション能力」（79.9%・70.9%）を求める割合が最も高く、本学卒業生に備わっていると感じる能力として「コミュニケーション能力」の回答は 39.6%となり、備わっていると感じる能力としては 1 位となるため、一定の能力は身につけていることが窺える。引き続き、コミュニケーション能力育成の取り組みが重要であると考えられる。
- ・本学卒業生に備わっていると感じる項目としては、「自ら課題を発見し、解決する能力」（39.6%）、「コミュニケーション能力」（39.6%）、「意欲・積極性」（35.8%）の順となり、上記の重視する項目の上位と一致し、日々の授業・研究活動や学生生活において身につけたこれらの素養が企業から重視されるとともに評価されていることが窺える。
- ・本学卒業生に足りないと感じる項目としては、上位 1 位から 3 位の合計では「横断的にものごとを俯瞰できる能力」（52.4%）が最も多く、次いで「異文化理解・国際性」（49.5%）となっている。しかし、1 位のみでは昨年度同様に「異文化理解・国際性」（35.9%）が最も多いため、

引き続き「異文化理解・国際性」を身につけるための有効な取り組みを検討する必要があると考えられる。

（２）数理・データサイエンス・AI の知識について【Q5】

- ・ 本学を卒業した新入社員に求める数理・データサイエンス・AI の知識のレベルについて、「Level1：数理・データサイエンス・AI に関心があり、それらの知識を適切に理解・活用するための基礎を有している（全ての学生が身に付けておくべき基礎的な知識レベル）」（42.5%）が昨年度同様に最も多かった。また、「Level2：数理・データサイエンス・AI の知識を活用し、課題を解決するための実践的な基礎能力を有している」（26.1%）と合わせて約 70%の企業が数理・データサイエンス・AI の基礎的な知識を身につけていることを求めていることが窺える。さらに、Level3、Level4 の「専門的な能力・知識・技術等を有している」を含めると 85%以上の企業がデータサイエンスに関わる能力等を身につけていることを求めている。

（３）博士後期課程学生の採用関連について【Q6～Q10】

- ・ Q6 では、新卒者採用において、直近 5 年間（2021 年 4 月～2025 年 4 月）で博士後期課程修了者の「採用実績がない」割合が昨年度同様に高く、75.4%（昨年度 74.5%）だった。
- ・ Q7 では、全企業（博士後期課程修了者を新卒で採用していない企業を含む）を回答対象としており、「専門的な知識・技術」、「自ら課題を発見し、解決する能力」、「コミュニケーション能力」を博士後期課程修了者に特に求めている能力であることが見て取れる。しかし、Q9 では、博士後期課程修了者を新卒で採用している企業が、博士後期課程修了者に足りていないと感じる能力について、「コミュニケーション能力」、「柔軟性」、「協調性」と答える企業が多く、採用前に期待する能力として挙げている「専門的な知識・技術」、「自ら課題を発見し、解決する能力」については一定程度満たされていることがわかる。一方、「コミュニケーション能力」は、期待する能力として上位となっているとともに、足りていない能力としても上位となっている。
- ・ Q8 では、博士後期課程修了者を新卒で採用する場合の待遇や枠組みについて、「修士課程修了者と同様の待遇、枠組みで採用している。」（36.6%）が最も多く、特に決めてはいない/個別の事案により判断している。」（32.1%）、「修士課程修了者とは区別して採用している。」（27.6%）と続いている。

（４）学習歴を証明するオープンバッジの活用状況について【Q11】

- ・ 「オープンバッジとは何か知らなかった」が最も多く 73.1%となっており、「採用活動に取り入れる予定はない」（25.4%）をあわせると 98.5%となり、オープンバッジがまだ浸透していないことが窺える。

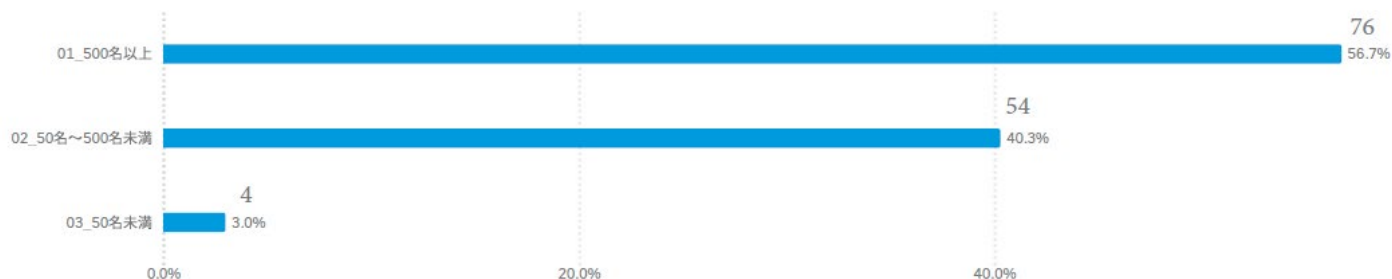
5. 課題

- ・ コミュニケーション能力の育成（昨年度同様）
- ・ 「異文化理解・国際性」を身につけるための取組の実施（昨年度同様）

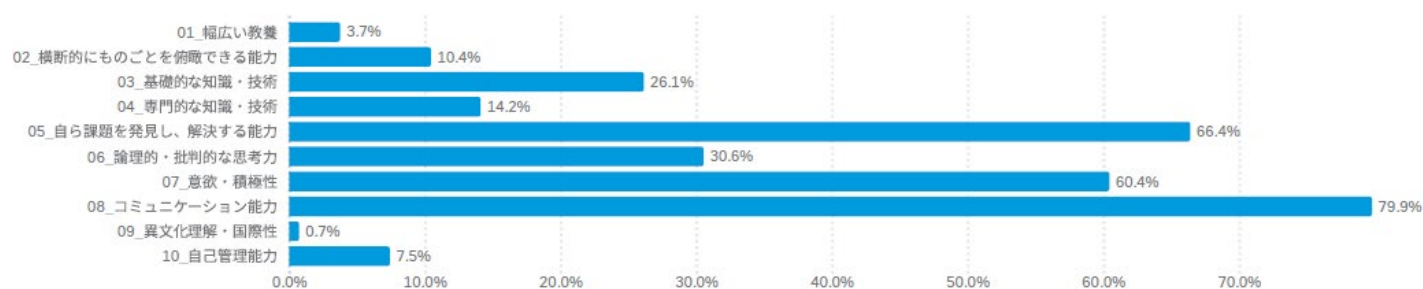
以上

2025 年度 進路先企業対象アンケート集計結果

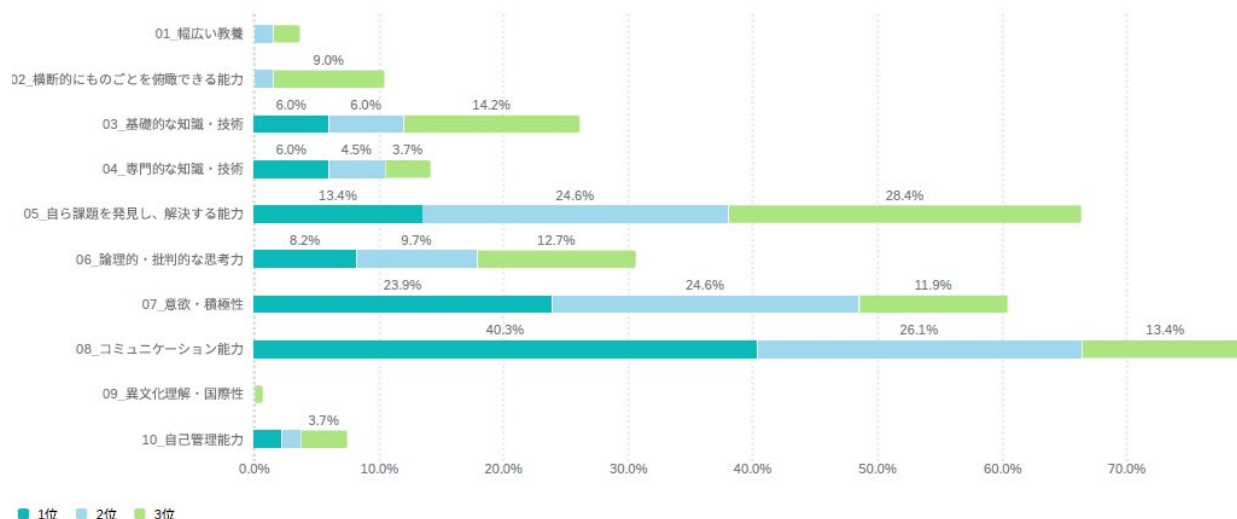
1. 貴社の従業員数をご選択ください。 134



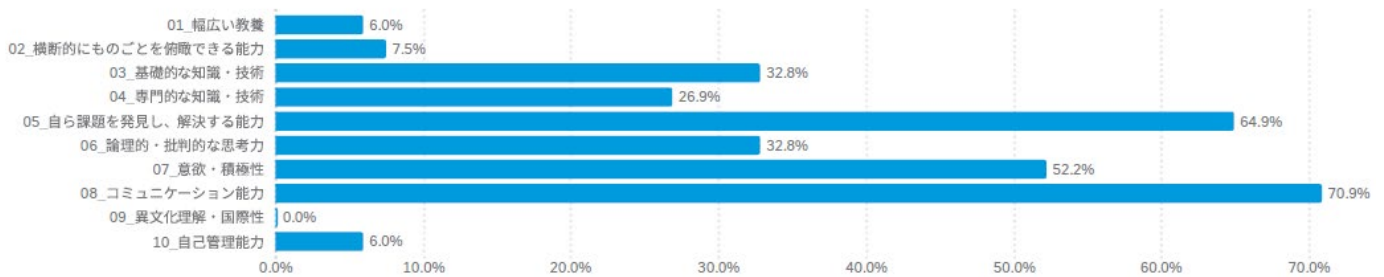
【Q1-1】大卒新卒者採用において重視する項目について、優先順位の高い3つをご選択の上、優先順位をご選択ください。 134



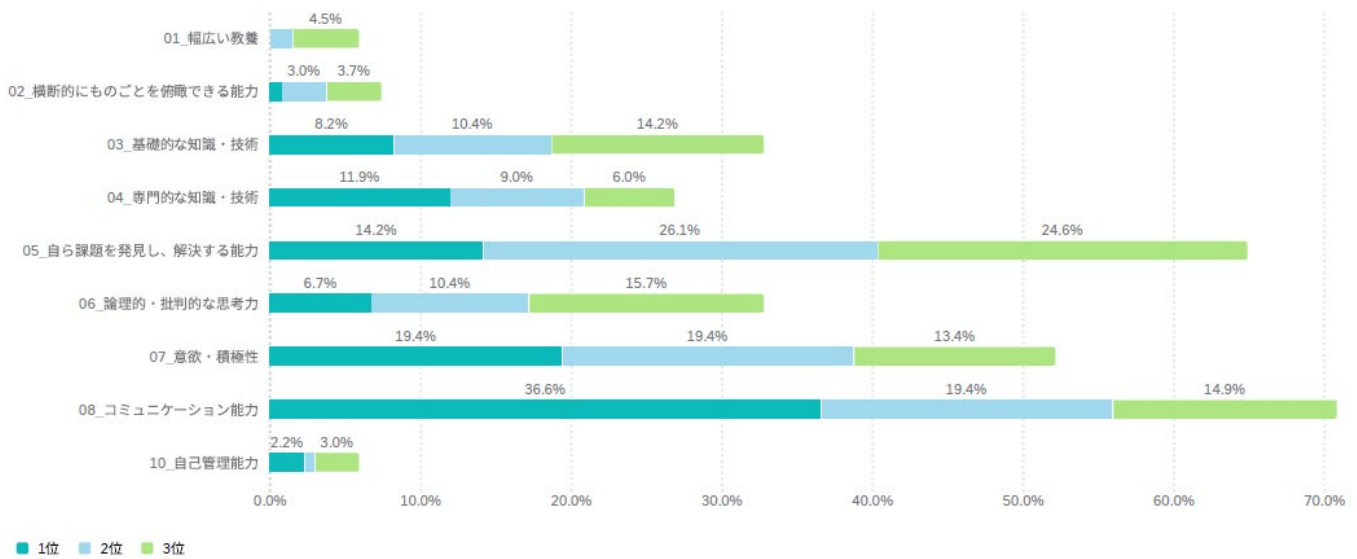
【Q1-2】大卒新卒者採用において重視する項目について、優先順位の高い3つをご選択の上、優先順位をご選択ください。 134



【Q2-1】 本学新卒者を採用するにあたり、重視する項目について、優先順位の高い3つをご選択の上、優先順位をご選択ください。 134

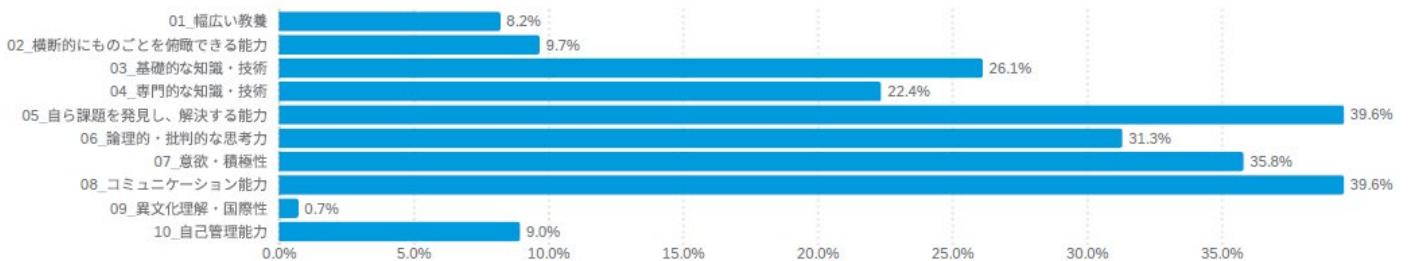


【Q2-2】 本学新卒者を採用するにあたり重視する項目について、優先順位をご選択ください。 134

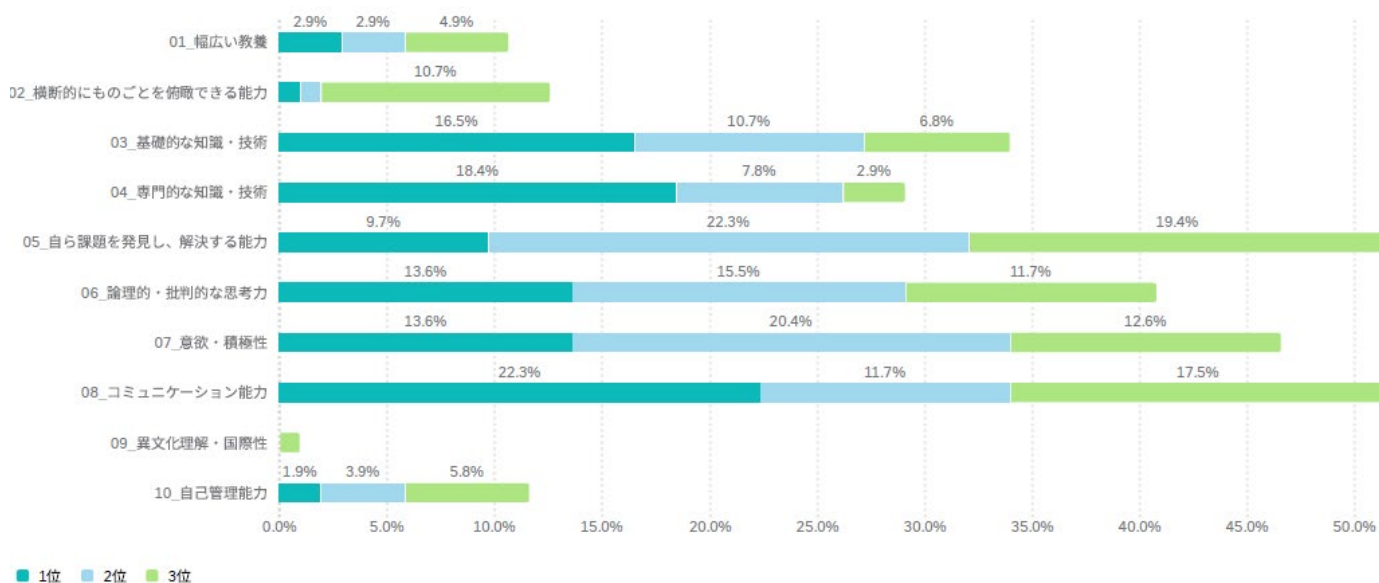


※回答がなかった「09_異文化理解・国際性」は表示されていません。

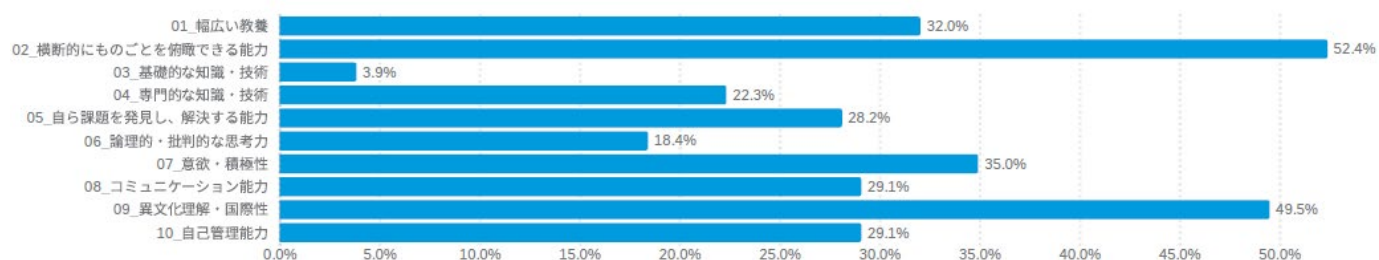
【Q3-1】 貴社に在籍している（概ね入社5年目までの）本学卒業生がいる場合、備わっていると感じる項目の上位3つをご選択の上、順位をご選択ください。（該当する本学卒業生がいない場合は、「00_該当なし」をご選択ください。） 134



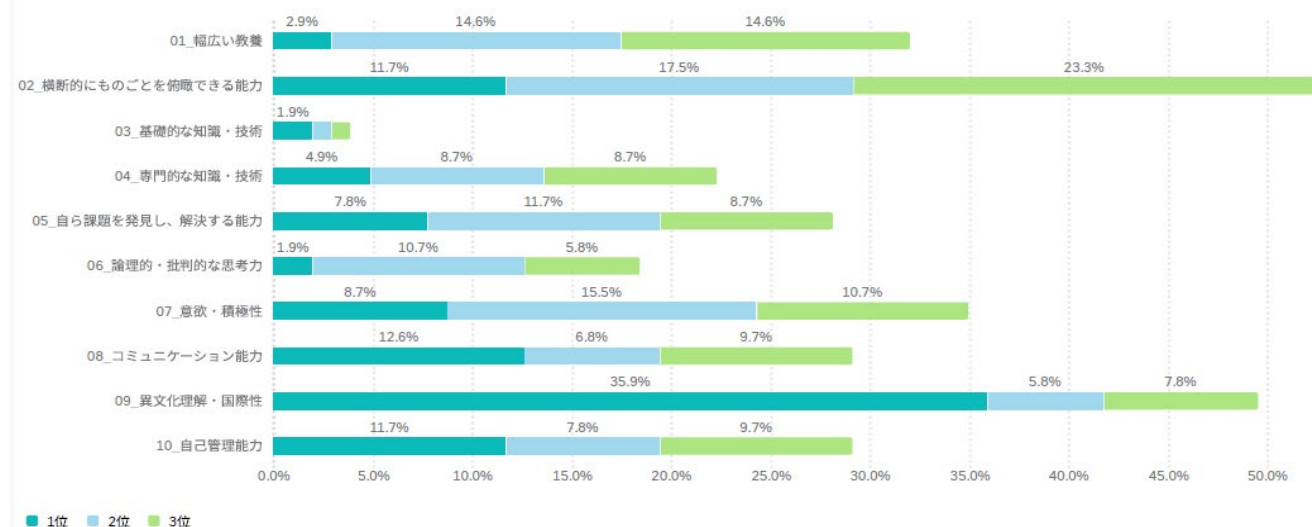
【Q3-2】 貴社に在籍している（概ね入社5年目までの）本学卒業生がいる場合、備わっていると感じる項目の順位をご選択ください。 103



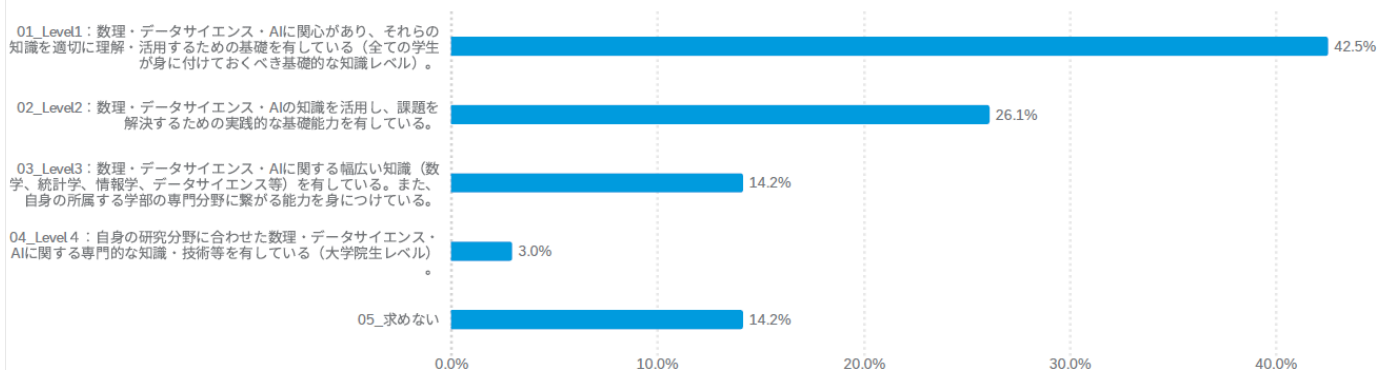
【Q4-1】 貴社に在籍している（概ね入社5年目までの）本学卒業生がいる場合、足りないと感じる項目の上位3つをご選択の上、順位をご選択ください。 103



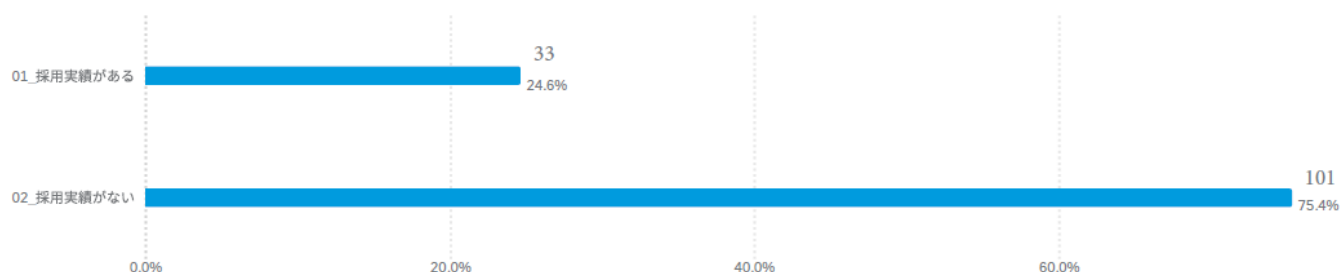
【Q4-2】 貴社に在籍している（概ね入社5年目までの）本学卒業生がいる場合、足りないと感じる項目の順位をご選択ください。 103



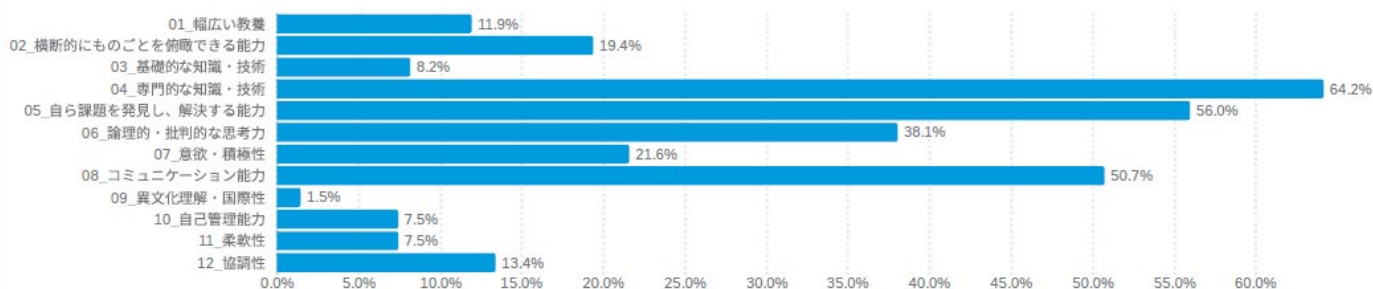
【Q5】 本学では、学生の所属にかかわらず、自身のレベル等に合わせて、学部から大学院まで一貫して数理・データサイエンス等の知識・技能を学べるデータサイエンス教育プログラムを実施しています。本学を卒業した新入社員に対して、貴社では、数理・データサイエンス・AIの知識について、どのレベルを求めますか。 134



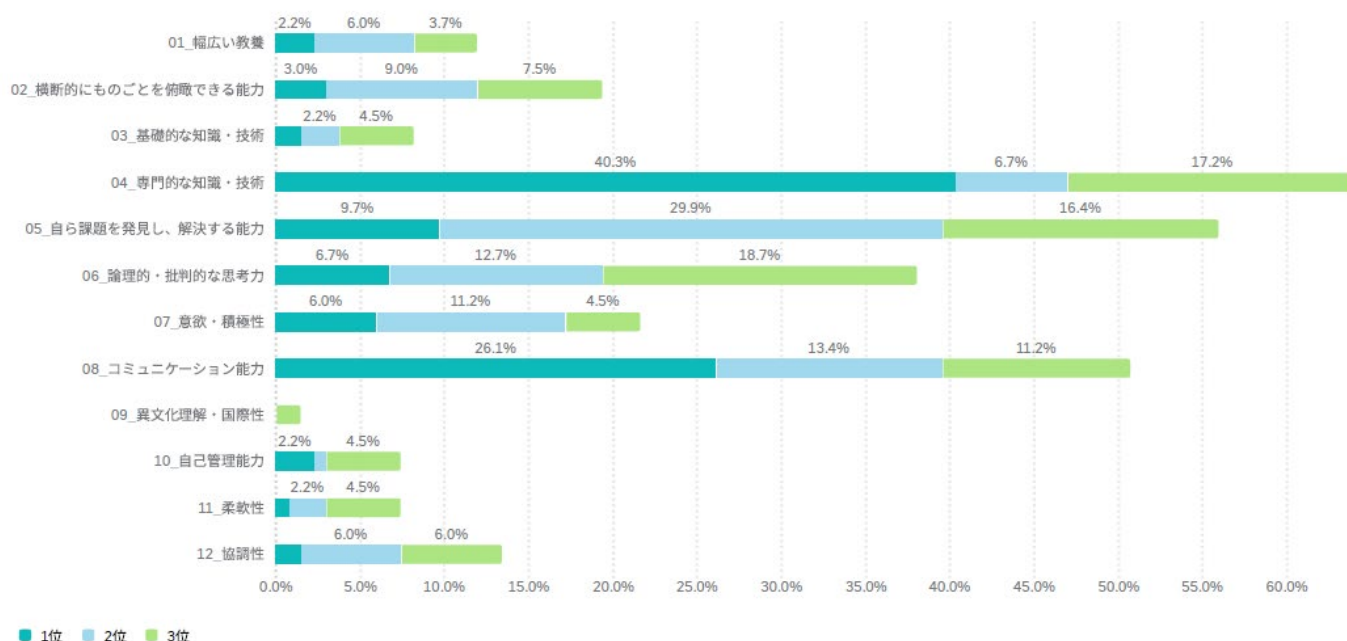
【Q6】 貴社の新卒者採用において、直近5年間（2021年4月～2025年4月）で博士後期課程修了者の採用実績はありますか。 134



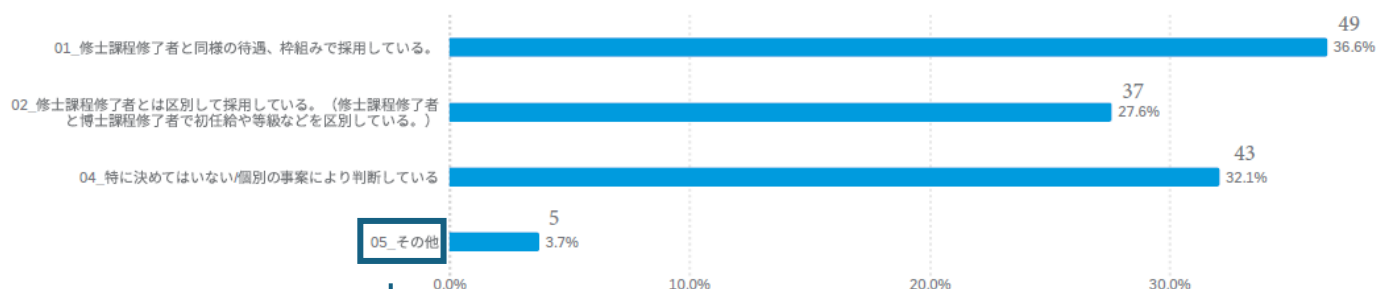
【Q7-1】 博士後期課程修了者に期待する能力について、上位3つをご選択の上、優先順位をご選択ください。 134



【Q7-2】 博士後期課程修了者に期待する能力について、優先順位をご選択ください。 134



【Q8】 博士後期課程修了者を新卒で採用する場合の待遇や枠組みについて、以下の選択肢から、貴社の採用方針に当てはまるものをご選択ください。 134

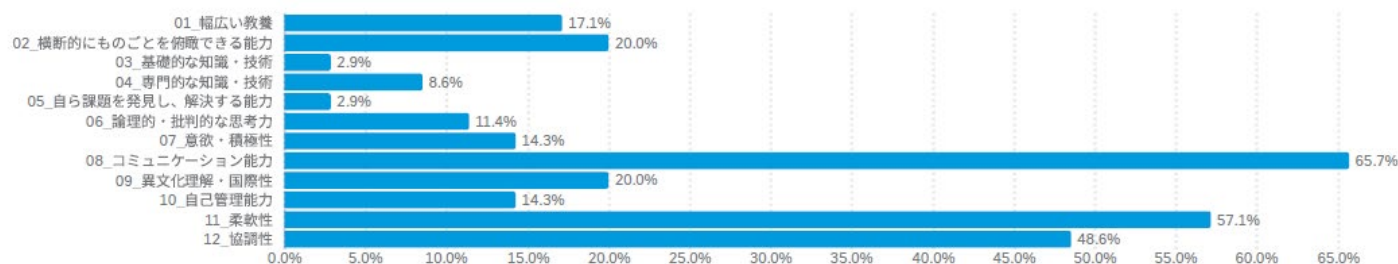


Q8_05_その他の回答記述 ※抜粋

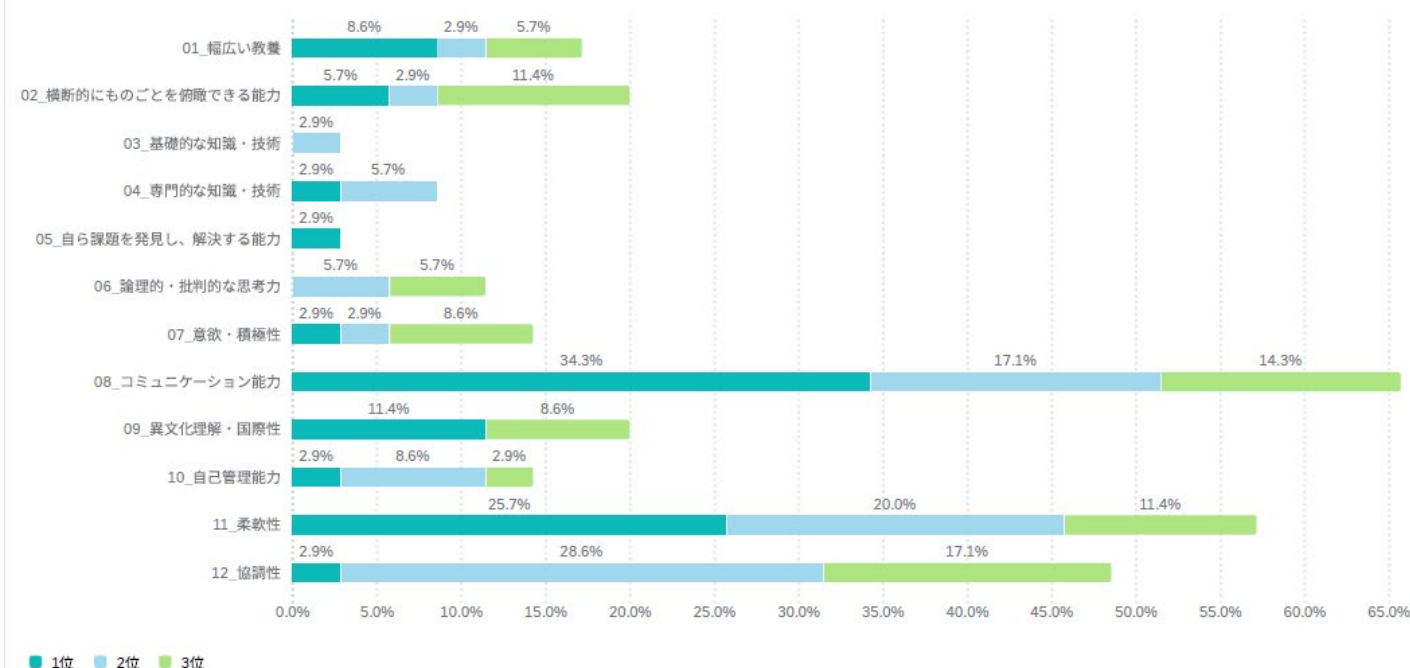
- ・実績、研究内容などにより優遇措置あり。
- ・新卒での採用は検討していない。

※回答がなかった「03_キャリア採用枠として採用（ポテンシャル採用ではなく、知識やスキルを重視している。）」は表示されていません。

【Q9-1】（博士後期課程修了者を新卒で採用している場合）博士後期課程修了者に足りていないと感じる能力について、上位3つをご選択の上、順位をご選択ください。（採用していない場合は、「00_該当なし」をご選択ください。） 35



【Q9-2】（博士後期課程修了者を新卒で採用している場合）博士後期課程修了者に足りていないと感じる能力について、順位をご選択ください。 35

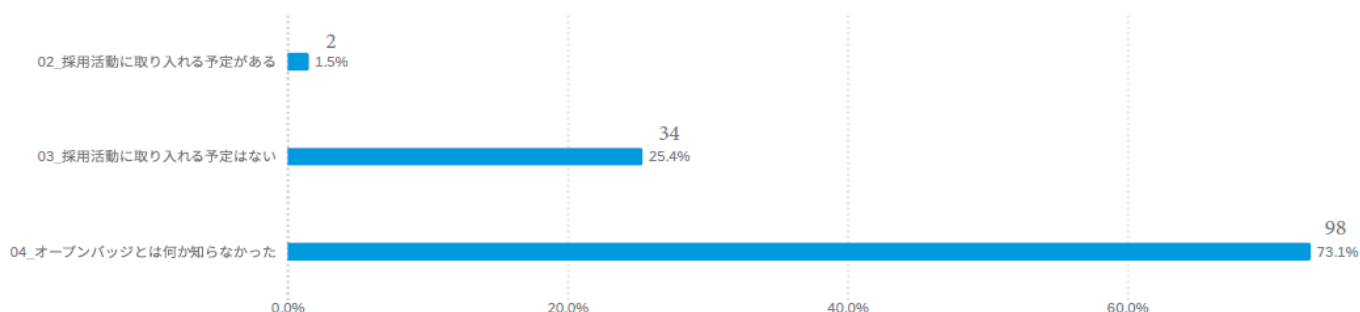


【Q10】博士後期課程修了者の採用方針がありましたらご入力ください（自由記述）。※抜粋

- ・適性を重視した人物本位で採用選考を行っているため、学卒・院卒（修士・博士）の分け隔てはない。
- ・応募があった際に本人の専門性や描くキャリアを想定して採用している。
- ・博士課程後期の学生には想像力豊かに且つ柔軟に自ら考え抜く力の有る学生を採用したい。弊社の場合、初任給グレードの中の最上位が博士課程後期となり、入社後の強いリーダーシップを期待している。
- ・博士課程の採用は強化しており、博士課程卒初任給が47万5千円と給与面にも反映をしている。
- ・博士後期課程卒で、高度な専門知識と能力が認められた場合には、特別処遇にて給与決定している。

【Q11】学習歴を証明するオープンバッジ（※）に関して伺います。貴社の採用活動における活用状況について、以下からあてはまるものを選択ください。

134



※回答がなかった「01_採用活動に取り入れている」は表示されていません。